

2014年3月15日(土)

2-2

第2回調整会議

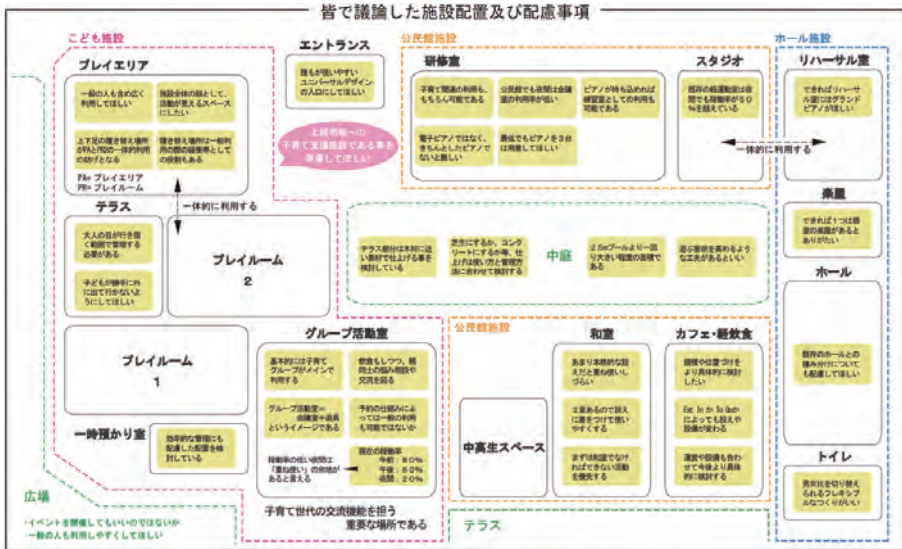
会場：市民プラザ第4会議室

公民館施設、こども施設、ホール施設を1つの施設にすることから各施設の意見を市民自ら調整する場として設置された調整会議の第2回が、3月15日(土)に市民プラザで開催された。第1回同様、はじめに各部会での議論の内容が報告され、各部会における第2クールの2回のワークショップの結果から3部会共通に上がった「施設の機能配置」と「共用機能」について議論された。第2クールでは複数の検討案の図面が提示されていた事もあり、今回の調整会議においても図面や模型を見ながら機能配置や共用機能の使い勝手に関する具体的な議論が行われた。

冒頭で主な議題となったのはこども施設のグループ活動室についてであった。公民館部会やホール部会の代表者からグループ活動室の使い方についての質問が上がり、こども施設の代表者が答える形で利用のイメージが共有されていった。市からも現在の稼働率等の情報が提供され、あくまでも子育てグループなどが優先的に利用するが、夜間等の稼働率の低い時間帯に関しては一般利用者との「重ね使い」も検討していく事となった。その他にも、研修室や和室については全ての部会から使い方に関する意見が出され、効率的な「重ね使い」をするための部屋の設えや必要な設備についての具体的な意見も多く出された。さらにテラスや広場といった外部の共用機能



第2回調整会議の議論の様子



第2回調整会議の議論のまとめ (市のHPには大きなサイズのまとめ資料が掲載されています)

についても「この施設の中でも気持ちのいい場所なので、できるだけ多くの人が利用しやすいような工夫が必要である」といった意見や「施設全体としてイベント等に積極的に利用する」といった意見ではないか」といった意見が出された。

今後の検討事項としては、これまではあまり意見がなかったカフェ・軽食機能の広さや作り方、運営主体とその方法に関してや、ホール付近のトイレの男女比等が挙げられた。最後に、今後の議論に向けて、「基本的には、優先的に利用する人の使い勝手を最優先に考え、その上で複合施設としてのメリットが最大化されるような有効利用を検討していく」という考え方を全ての部会での共通認識として徹底する事が確認され、会議を終えた。

2014年2月14日(金)

3-2

第2回高校生ワークショップ

会場：あすとびあ高田ミュゼ雪小町多目的室

第2回高校生ワークショップは前回から約1か月後、ミュゼ雪小町で行われた。はじめに計画案について説明を受けた後、2つのグループに分かれて「高校生が利用したい施設内容」について話し合った。1つのグループは「新しい施設でのイベントや活動」について、もう一方のグループは「中高生スペースの使い方」について意見を出し合った。特に、新しい施設でのイベントや活動の提案は「中庭」を利用したアイデアが多く出され、館内の様々な施設と中庭を積極的に連携利用することを提案したものであった。また、中高生スペースの利用イメージも高校生の専用というのではなく、「多世代との交流」を意識した利用の提案がされた。特に「4校合同文化祭」「高校生サミット」は、新しい施設の立地を生かして、生徒たちの新しい活動と発信の場として期待できる提案であった。今あるイベントや活動を「交流」をキーワードにして新しい活動の創造に結びつけていける提案として大いに期待できる。



当初2回で終了予定であった高校生ワークショップは高校生からの希望で第3回を開催することとなった。

Bグループの発表の様子	Aグループの発表の様子
熱心な議論の様子	全体の様子